

第 21 回日本蛋白質科学会年会（オンライン）若手賞の報告

2021 年 6 月 29 日

日本蛋白質科学会の若手賞の表彰は、蛋白質科学にかかわる若手研究者を奨励する事を目的とし、2008 年度からポスター賞と若手奨励賞の表彰をしています。書類選考により奨励賞を選び、その受賞者の講演を審査することにより奨励賞優秀賞の受賞者を決定しています。

2021 年度若手奨励賞優秀賞 2 名

YSA-05 小杉 貴洋（分子科学研究所）

失われた機能を蘇らせることで回転分子モーター-V₁-ATPase にアロステリック部位を設計する

YSA-06 山田 等仁（京都産業大学）

クライオ電子顕微鏡による *Clostridium perfringens* が産生する二成分毒素の膜透過に伴うアンフォールディング機構の解析

2021 年度若手奨励賞 5 名

YSA-01 小林 稜平（東京大学）

1 分子回転観察と操作によって解明されたミトコンドリア由来 ATP 合成酵素における阻害因子 IF₁ の制御機構

YSA-02 森脇 由隆（東京大学）

アブラナ科植物の自家不和合性の花粉拒絶反応を制御するタンパク質 SRK/SP11 複合体の包括的相互作用解析

YSA-03 富田 篤弘（東京大学）

Cryo-EM structures of ATP13A2 reveal transport mechanism of polyamines

YSA-04 島田 寛人（東京大学）

TRPV3 ナノディスク複合体の構造解析による TRPV3 活性化機構の解明

YSA-07 武田 聖（東京大学）

小型 CRISPR-Cas12f の構造解析

若手奨励賞には本年は 25 名の応募者があり、事前の書面審査により 7 名が受賞者として選考されました。奨励賞受賞者の皆さんには、大会 2 日目（6 月 17 日）の午前中に開催された若手奨励賞シンポジウムにおいて、13 分の招待講演を英語で行っていただき、厳正な会場審査が行われました。その後、会長を審査委員長とする審査委員会において、2 名の優秀賞受賞者を決定いたしました。

若手奨励賞の発表および表彰式は、年会 3 日目の総会にて行われました。多くの総会参加者が見守る中、上記の 2 名の若手奨励賞優秀賞受賞者が発表され、会長から表彰状が授与されました。若手奨励賞優秀賞受賞者には、副賞として記念楯と来年の Protein Society に参加するための渡航費が贈られる予定です。

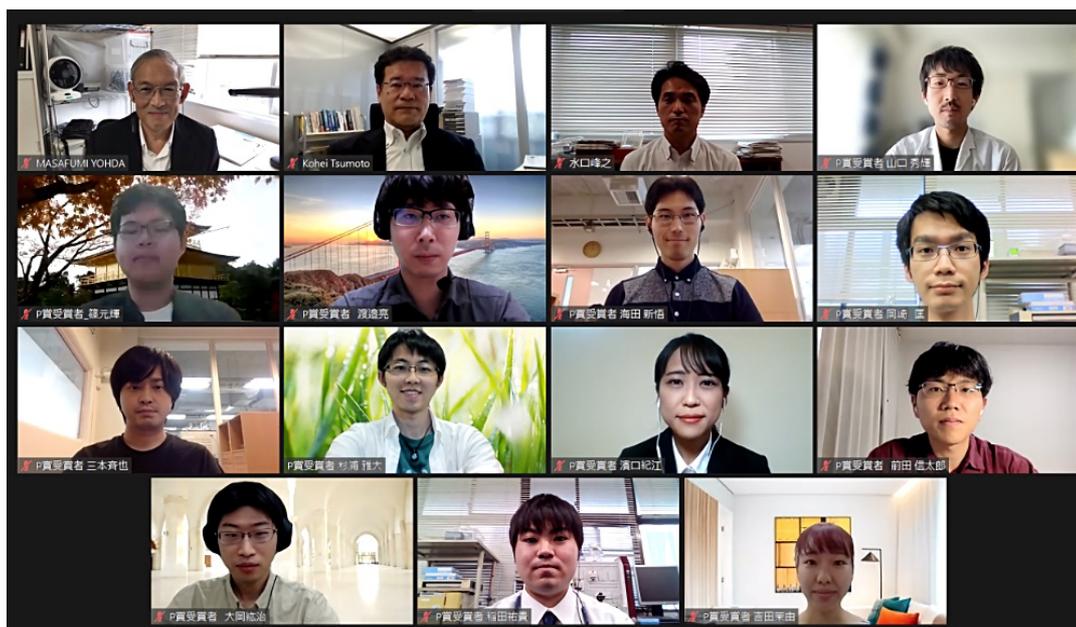


ポスター賞 12名

若手奨励賞の表彰に先立ち、ポスター賞受賞者の発表が行われました（ポスター番号順）。

1P-03	吉田 菜由	大阪府立大学	1P-05	濱口 紀江	千葉大学
1P-09	前田 信太郎	京都大学	1P-32	篠 元輝	京都大学
1P-47	山口 秀輝	東京大学	1P-54	杉浦 雅大	名古屋工業大学
1P-60	渡邊 亮	東京大学	2P-45	大岡 紘治	東京大学
2P-59	稲田 祐貴	熊本大学	2P-68	海田 新悟	総合研究大学院大学
2P-75	岡崎 匡	熊本大学	2P-87	三本 斉也	総合研究大学院大学

学生会員を対象とするポスター賞に 97 名の応募がありました。応募者全員による 1 分間のフラッシュトークと、ポスター会場での発表の双方を基に、審査委員による厳正な採点が行われ、各分野から上記 12 名の受賞者を決定しました。受賞者の皆さんには、表彰状が授与されました。



なお、2020年度若手奨励賞および若手奨励賞優秀賞の表彰式が2021年度各賞表彰式に先立って行われました（各賞受賞者は、ニュースレターVol. 20, No. 2で既に報告しております）。



電子メール版ニュースレター発行

〒562-0015 大阪府箕面市稲 4-1-2 日本蛋白質科学会事務局

Tel : 072-729-4125 / Fax : 072-729-4165

E-mail : jimmu@pssj.jp URL : <http://www.pssj.jp/>

編集責任者： 茶谷 絵理（神戸大学）

胡桃坂 仁志（東京大学）